監視システムは、故障を最初に検知した作動シーケンスの次の作動シーケンスの終了前に、故障の有無を確定することとする。このとき、故障があると判断した場合には、本故障コードを記録し、2.5.に従い、警報装置を作動させることとする。

次の作動シーケンスで自動的に解除され通常制御に戻る等の復帰性のあるMESの場合は、次の作動シーケンスの終了前にMESが再度作動しない限り、本故障コードを記録しなくてもよい。ただし、復帰性のないMESの場合には、MESが作動した時点で、本故障コードを記録するものとする。

監視が故障を確定させるために２回を超える作動シーケンスを必要とする場合、自動車製作者等がその必要性について技術的根拠、試験結果等を基に試験機関に説明し、試験機関が認めた場合に限り、当該監視を使用することができる。

本故障が、一回の作動シーケンス中に検知されない場合は、当該故障は次の作動シーケンスの開始時までに過去故障コードとして記録され、2.3.に従い、当該故障が消去されるまで記録されるものとする。

本項に定めた要件を別紙２に示す。

2.3.　OBD情報を消去する際の要件

故障コード及び当該故障コードに関連する情報（フリーズフレームデータを含む。以下同じ。）は、40回のウォームアップサイクル（冷却水の温度がエンジン始動時より22K（22℃）以上上昇し、333K（60℃）となるために十分なエンジンの作動をいう。以下同じ。）又は200時間のエンジン稼動のいずれか早い方が達成されるまでの間、OBDによって消去されてはならないものとする。OBDは、スキャンツール又は保守ツールから要求された際に全ての故障コード及び当該故障コードに関連する情報を消去するものとする。この場合において、自動車製作者等は試験機関との合意によりウォームアップサイクルについて333K（60℃）以上の温度を設定することができる。

2.4.　故障の分類

2.1.の監視要件を満たす監視により故障が検知された際、当該故障が割り当てられるクラスを指定するものとする。

個々の故障は、提出書面を受理した試験機関又は提出書面を提出した自動車製作者等が当該故障の再分類が必要であることを決定しない限り、１つのクラスに割り当てるものとする。

１つの異常の結果として、排出ガス量が異なる又はその他の監視機能への影響に関して異なる分類が生じる場合は、異常の判別表示の規定で優先されるクラスに分類されるものとする。

異常を検知したことによりMESが作動した場合、その異常は作動したMESによる排出ガス量への影響又はその他の監視機能への影響のいずれかを基に分類されるものとする。この異常は、判別表示の規定で優先されるクラスに割り当てられるものとする。

2.4.1.　クラスA故障

OBD閾値を超過する故障をクラスA故障とする。なお、当該故障の発生時にはOBD閾値を超過していなくてもよい。

2.4.2.　クラスB故障

2.4.2.1.　クラスＢ１故障

排出ガス成分がOBD閾値を上回る可能性がある状況にあるが、排出ガス成分に及ぼす正確な影響を推定することができないために、実際の排出ガス成分が状況によってOBD閾値を上回ることも下回ることもある場合、その故障をクラスＢ１故障とする。クラスＢ１故障は、クラスA故障又はクラスＢ１故障の監視を実行するためのOBDシステムの機能を制限する故障を含むものとする。

2.4.2.2.　クラスＢ２故障

排出ガス成分がOBD閾値を上回るレベルには至らないと推定される故障をクラスＢ２故障とする。クラスＢ２故障の監視を実行するためのOBDシステムの機能を制限する故障は、クラスＢ１故障又はクラスＢ２故障に分類されるものとする。

2.4.3.　クラスC故障

排出ガス成分が規制値を上回るレベルに至らないと推定される故障をクラスC故障とする。クラスC故障の監視を実行するためのOBDシステムの機能を制限する故障は、クラスＢ１故障又はクラスＢ２故障に分類されるものとする。

2.5.　警報装置の要件

警報装置は、その構成部品の故障によって、OBDの機能を停止させるものであってはならない。

2.5.1.　MIの仕様

MIは、通常の照明下において運転者が視認できる位置に備えるものとし、ISO規格2575又はISO規格7000：2004に準拠した黄色又はアンバーの警告信号又は運転者が容易に理解できる短文を表示する灯光から成るものとする。

2.5.2.　MIの点灯条件

MIは、OBDによって検知される故障に応じて、表１の作動モードのいずれかにより、点灯するものとする。

表１　MIの点灯条件

	作動モード１	作動モード２	作動モード３	作動モード４
作動条件	故障無し	クラスC故障	クラスB故障 及び Ｂ１カウンター ＜200時間	クラスA故障 及び Ｂ１カウンター ＞200時間
キーオン、エンジンオン	表示無し	判別表示の規定		
キーオン、エンジンオフ	統一表示の規定			

MIは、2.5.3.に従い、判別表示を行い、また、2.5.4.に従い、統一表示を行うものとする。警告灯点灯確認及び準備状態表示を図１に、異常表示方法を図２に示す。

図１　警告灯点灯確認及び準備状態表示

